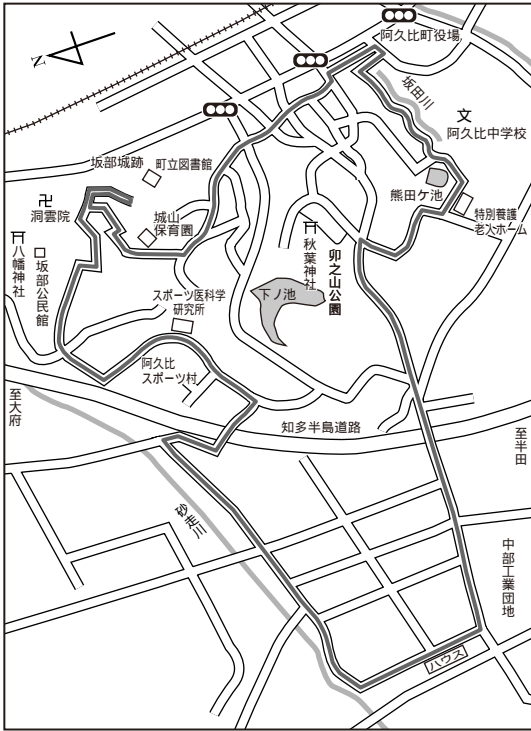
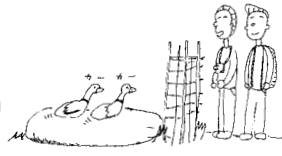


# シリーズ

## 阿久比を歩く ⑥⑧



熊田ケ池を泳ぐカモたち

二〇〇八年最初のぶらり旅は「於大の方コース」から始動。第一チェックポイント「阿久比町役場」をスタート。正月は普段にも増して、よく食べ、よく飲んだためか二人とも顔がむくんでいる。開口一番、「腹回りが苦しくて、正月からベルトを緩めたままだよ」と友人に話し掛ける。ベルトは緩めなくても済みましたが、知り合いの子どもにお年玉を配ったり、バーゲ

於大の方コース

ンで買い物をしたりして、財布のひもが緩み放しでした（笑）。正月休みの話題で盛り上がる。阿久比中学校を左手に見てゆくと坂を上る。正面に特別養護老人ホーム「阿久比一期一会荘」の建物が見える。老人ホーム近くの熊田ケ池をのぞくとカモが群れを成して泳いでいる。寒風が吹き付け、吐く息は白い。私たち人間にはこの時季に水の中で泳ぐとは考えられない事だが、カモたちは楽しそうに「ガアーガアー」と鳴き声を八モらせる。第二チェックポイントの「卯之山公園」奥に秋葉神社がある。鳥居にしめ縄が飾られ、参道石段の両脇には「奉納」と記された何本もの白い旗ざおが風に揺れる。大きな社はないが、小さな石碑が寄せ集められ、神がまつられる。秋葉神社は「火の神様」。「今年一年火事を起こさないように」と拝み、神社と公園を後にする。知多半島道路の上に架かる道路を渡ると、第三チェックポイント「中

あぐいぶらり旅

ふれあひマップを歩く(於大の方コース①)



秋葉神社の鳥居と参道

部工業団地」の各企業の工場が連なる。休日とあって荷物を運ぶトラックの出入りはない。半島道路を通る自動車の音が響くだけで工業団地内は静かだ。しばらく農道を歩く。この周辺の田では、レンゲソウを田にすき込んだ有機肥料を使い、米づくりを実践している。所どころで「阿久比米れんげちゃん」と書かれた立て看板を目にする。春になればレンゲソウが私たちの目を楽しませてくれるだろう。その日も近い。「僕は今年厄年だから、静かに一年を過ごそうと思うけど、君の今年の目標は？」と友人に尋ねる。「ねずみ年ですよねえ。デイズニーのミッキーマウスみたいに、常に笑顔を忘れずいたいですね。それから早寝早起きをして、暴飲暴食に気を付けたいでチユウ。「ねずみ年にふさわしい目標だね。頑張つてね」。第四チェックポイントの「阿久比スポーツ村」が目の前にきていた。次号に続く。